

4月11日の余震でいわき市に出現した地表地震断層(第3報)

現地調査

4月21日(木) 地質・地盤研究グループ地質チーム 主任研究員 品川俊介
同 交流研究員 江口貴弘

1

北茨城市～いわき市 周辺の活断層と余震 の分布

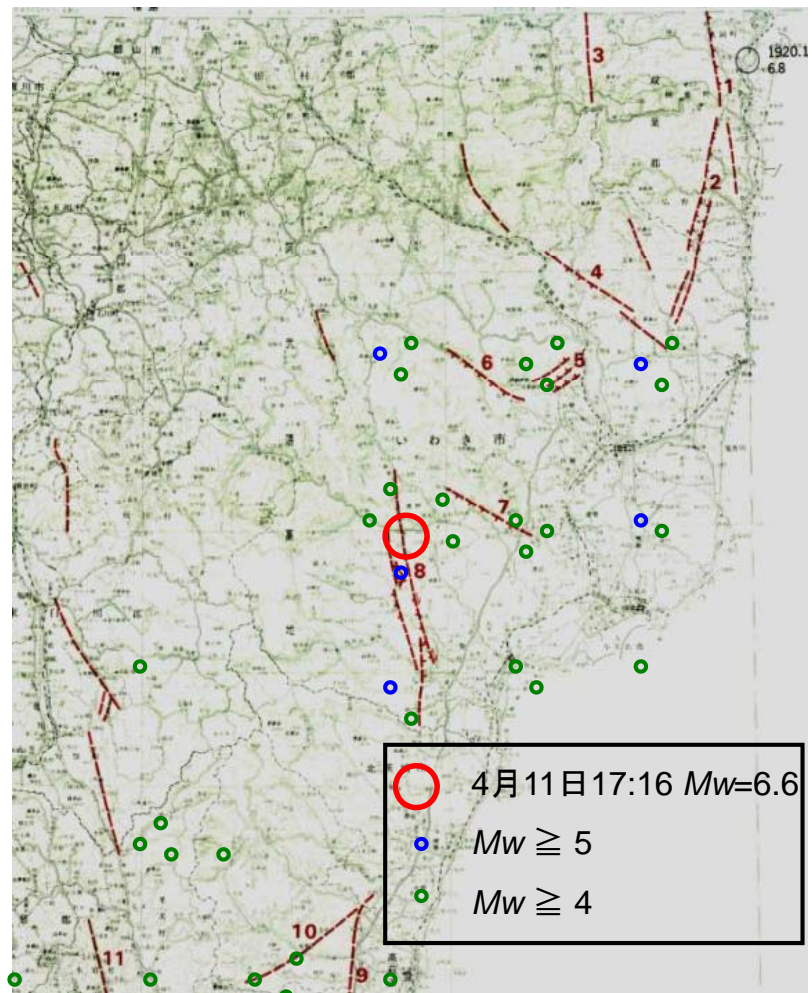
活断層

- | | |
|------------|-------------------|
| 1: 双葉断層 | 9: 関口-黒磯断層 |
| 2: 大阪-足沢断層 | 10: 関口-米平断層 |
| 3: 鬼太郎山西断層 | 11: 棚倉破砕帯西縁
断層 |
| 4: ニツ箭断層 | |
| 5: 大倉断層群 | |
| 6: 赤井断層 | |
| 7: 湯ノ岳断層 | |
| 8: 井戸沢断層 | |

出典

活断層研究会編(1991)新編日本の活断層-分布図と資料, 東京大学出版会

震源情報は防災科学技術研究所Hi-netのAQUAシステム震源情報(2011.4.13現在)によった。

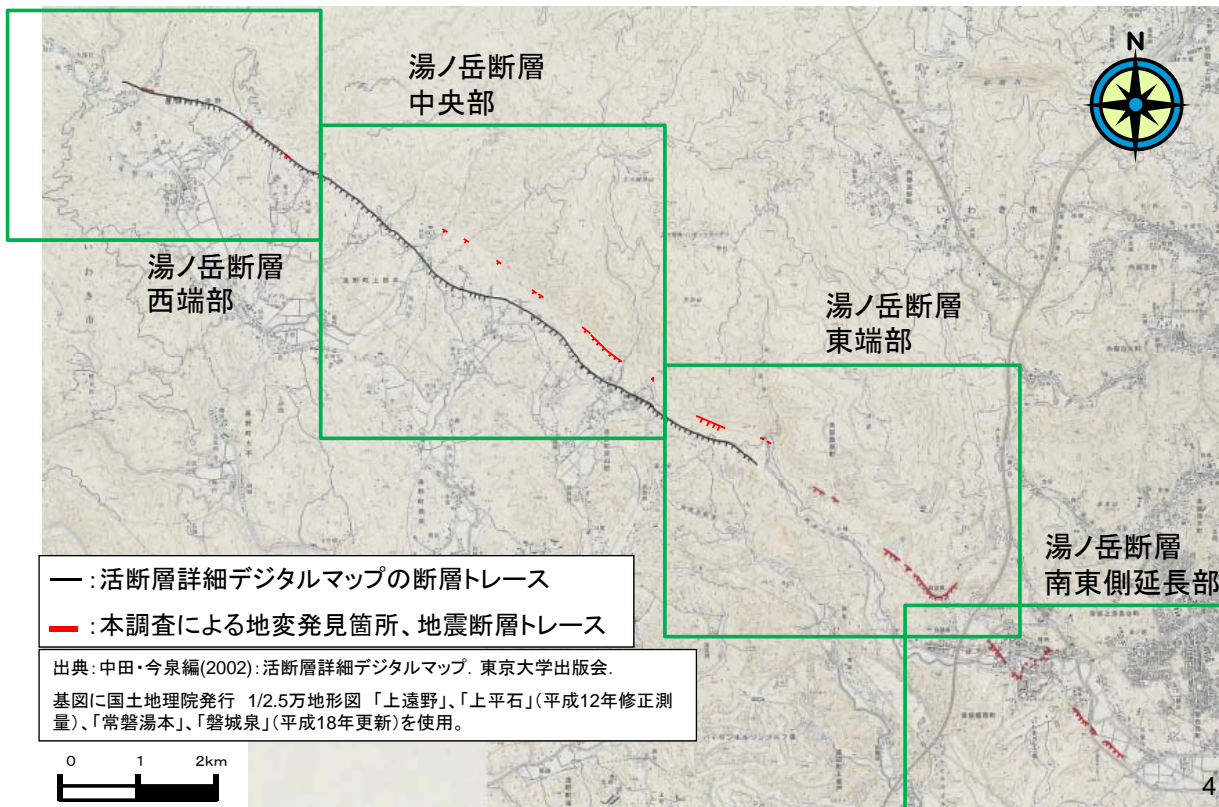


既存文献に表示されている湯ノ岳断層



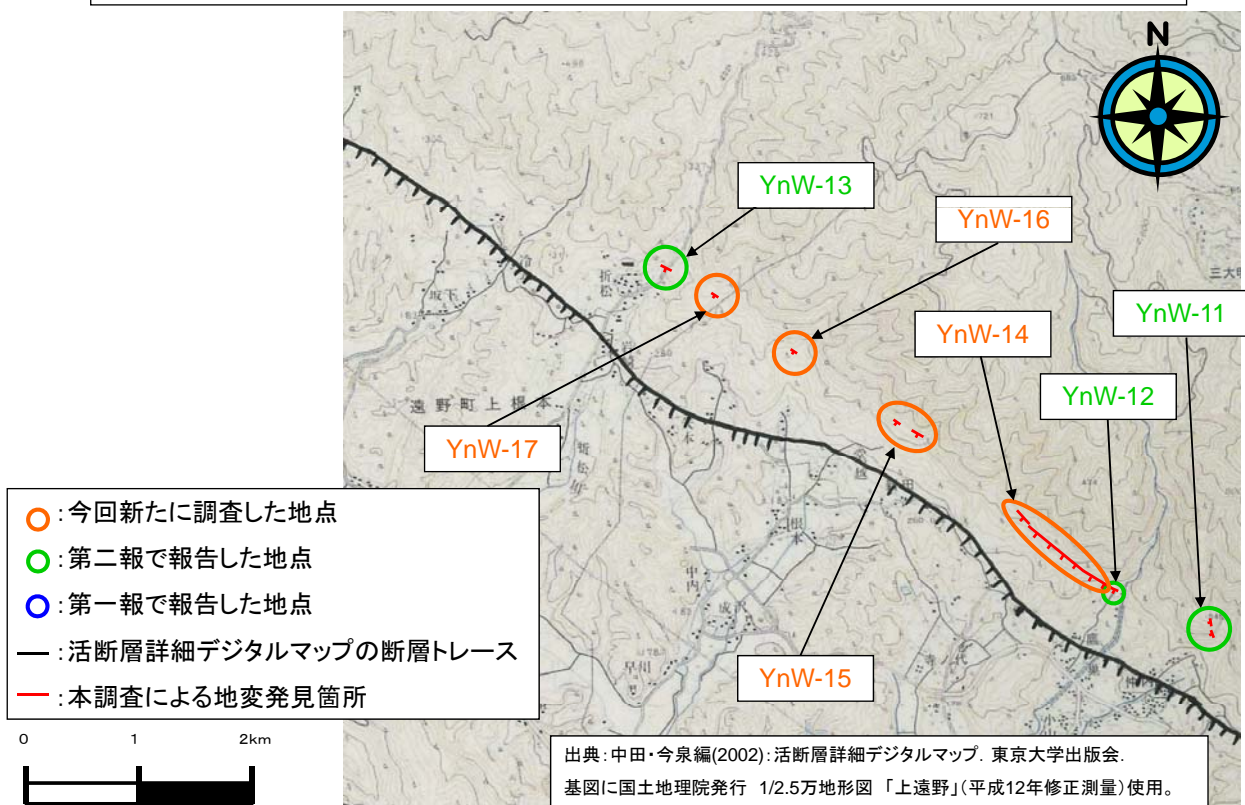
3

湯ノ岳断層の地表地震断層トレースと現地調査地点



4

湯ノ岳断層中央部の地表地震断層トレースと現地調査地点



湯ノ岳断層中央部の地表地震断層

• YnW-14地点



YnW-14地点の西端部付近で撮影。北東側を望む。
 走向はN60W。垂直変位量は50cm程度。



YnW-14地点の東端部付近で撮影。北東側を望む。
 走向はN60W。垂直変位量は20cm程度。
 この東方(写真右側)延長上にYnW-12がある。

湯ノ岳断層中央部の地表地震断層

• YnW-15地点



YnW-15地点東側の確認地点。東を望む。
走向はN40W。垂直変位量は30cm。



YnW-15地点西側の確認地点。北を望む。
走向はN55W。写真手前側の里道面での垂直変位量は最大で30cm。

7

湯ノ岳断層中央部の地表地震断層

• YnW-16地点



北を望む。
里道面に直線上の亀裂がみられる。



左写真の拡大。
走向はN55W、垂直変位量は15cm程度。

8

湯ノ岳断層中央部の地表地震断層

• YnW-17地点



北西を望む。

2条の平行な亀裂がみられる。写真奥(北西)方向に連続している。

亀裂の走向はN55W。垂直変位量は、右側の亀裂は20cm。

9

まとめ

1. 湯ノ岳断層中央部において、これまで確認された断層変位箇所の中間の変位状況を追跡し、地表地震断層の連続を確認した。